

平成 28 年度 滋賀県総合防災訓練 参加報告

関西地質調査業協会は、平成 28 年 9 月 11 日(日)に滋賀県彦根市日夏町の荒神山公園で行われた「平成 28 年度滋賀県総合防災訓練」に参加しました。本年度は、鈴鹿西縁断層帯を震源とする大規模地震が発生して湖東地域で震度 7 を観測し、建物の倒壊、火災発生、液状化の発生、ガス・水道・電気・電話等ライフライン施設、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者が発生した。また、折からの大雨で河川は増水しており、一部地域では氾濫が生じているという大災害を想定した訓練でした。我々協会員は、県内関係諸団体や企業の方々とともに防災啓発展示に参加しました。今年度は、液状化発生装置と津波発生装置を用いた実験や斜面災害のパネル展示、湖東地域の地質図やハザードマップの展示、防災や地質関連の資料冊子の配付をしました。展示会場においては、多数の来場者にお越しいただき、実験や展示物を興味深く見ていただきました。また、地元の小学生が液状化の実験装置に関心をもち、実験の実演の手伝いをしていただきました。その中でも、小学生が三日月知事に液状化原理の説明をして、液状化クイズを出題するという微笑ましい光景もみられました。

今年も地域防災に寄与する有意義な催しに参加することができました。

本年度、防災訓練の参加にあたり、技術委員、滋賀支部会員並びに関西地盤環境研究センター職員の皆様のご協力をいただきましたことをこの場をかりてお礼を申し上げます。



写真 1 展示会場前に集まった多数の見学者



写真2 液状化実験をみる見学者



写真3 液状化実験をみる見学者



写真4 津波実験装置をみる三日月知事



写真5 液状化クイズをする三日月知事



写真6 三日月知事と記念撮影



写真7 訓練に参加した協会関係者